

鉄道資料館

メンバー

藤井稜介, 林龍斗, 筒井蓮



鉄道資料館とは？

鉄道に関する貴重な資料を収集、展示した鉄道資料館は、鉄道の町として発展した旧、追分ならではの観光スポット。D51 機関車や、現在は希少な SL 部品も保存展示しています。時期によって休みの時もあります。

造られた日

昭和14年11月11日

造られた所

日立製作所, 配属昭和

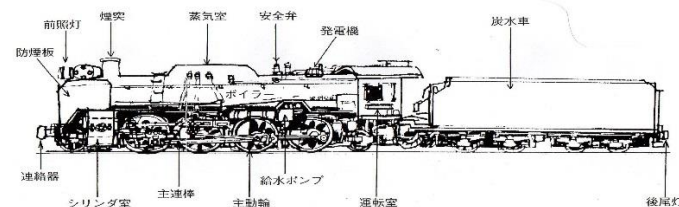
50年3月31日

主に走った線路

函館, 千歳, 室蘭, 夕張

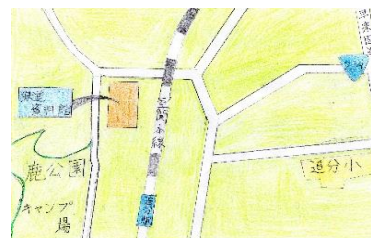
の各線

SLの構造



地図と住所

↓ここです！



北海道勇払郡安平町追

分白樺2丁目14番地

電話番号0145-25-2083

D51 241の勇姿よ永久に

D51241号機は、昭和14年に札幌苗穂工場で誕生以来追分に来て、他機関区に転勤したことがない追分のSL中のSL、昭和50年12月24日、わが国最後のSLとして夕張―追分間を走った栄誉ある「さよならSL」で、町では、永久に保存しようと計画をたてていた矢先、昭和51年4月13日夜の追分機関区の機関庫火災で庫内から引きだすことができず焼失しましたが、町民の間から「一部でもよいから241号機を残して」という声から、SL記念碑が建てられました。D51 241の主動輪とプレート入りの煙室扉がコンクリートの土台に安置され、現在の機関区を背後から見守っています。

SL 記念碑



鉄道の町 追分

昔、追分は「鉄道のまち」として有名でした。『SL』と呼ばれる、石炭を燃料とした汽車の基地があり、今よりたくさんの方が暮らしていました。しかし、石炭荷代わりに変わり石油を燃料としたディーゼル車が登場し、次第にその姿を消していったのです。そして、昭和50年12月24日、日本で最後のSL運行がこの追分で行われました。町民からSLを何とか保存しようという声があり、駅をよく見える、今の場所に鉄道資料館を建設したのです。



